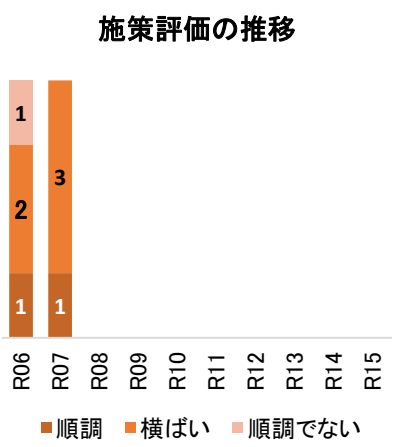
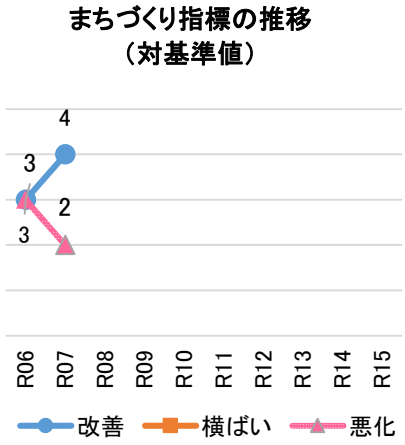
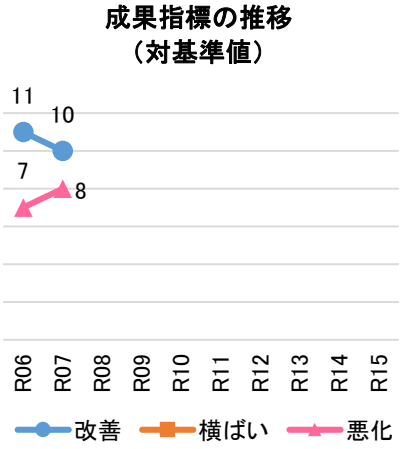
めざすまちの姿2　環境・経済分野
～住みやすい環境を保全し、にぎわいと活力に満ちている～

■施策評価の推移

施策名	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13	R14	R15
良好な生活環境の保全	順調でない	横ばい								
自然と共生する持続可能な社会の実現	順調	順調								
魅力ある農業の振興	横ばい	横ばい								
活力ある商工業の振興	横ばい	横ばい								







■指標の状況(対基準値)

■まちづくり指標

降下ばいじん量	+3.0% 低下
地域の環境面において、生活に支障を感じている人の割合	+0.4% 低下
温室効果ガス排出量の削減割合	+31.4% 向上
市民一人1日当たりのごみの排出量	-13.8% 向上
東海市産の農産物を意識して購入している人の割合	+0.9% 向上
商工業、観光分野でにぎわいが創出されていると思う人の割合	+7.8% 向上

■成果指標

改善	55.6%	横ばい	0.0%	悪化	44.4%

■関連する個別計画

環境基本計画
地球温暖化対策実行計画
ごみ処理基本計画
東海農業振興地域整備計画
農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想
鳥獣被害防止計画
産業振興ビジョン
観光ビジョン

めざすまちの姿　02　住みやすい環境を保全し、にぎわいと活力に満ちている

分野　2　環境・経済

施　策　03 良好な生活環境の保全

主管課：生活環境課

■施策の目標

衛生的で、だれもが暮らしやすい生活環境になっています。

■施策の基本方針

大気汚染、降下ばいじん、水質汚濁、悪臭、騒音の実態把握に努め、正確な情報を市民へ提供するとともに、事業者などと連携しながら、発生量の低減を図ります。

また、市民や地域、事業者と協力して、清掃活動や害虫駆除などに取り組むことで、環境美化や日常生活における環境改善を推進します。

■施策実現の財源投入状況　（単位：千円）

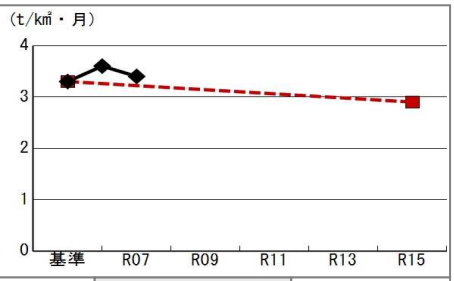
予算	R07年度	278,874	対前年比　103.6%	決算	R07年度	275,356	対前年比　103.0%
	R06年度	269,137			R06年度	267,309	

■まちづくり指標の推移

降下ばいじん量(t/㎢・月)

指標NO.0003　【指標特性】下がると良い指標

基準値		3.3
R06実績		3.6
R07実績		3.4
R08実績		
R09実績		
R10実績		
めざそう値	R10	3.2
	R15	2.9



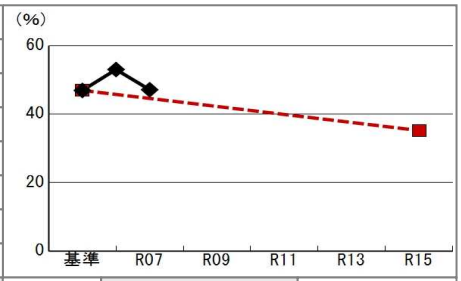
対基準値	悪化	R15めざそう値達成率	-25.0%
対前年比	改善		

生活環境課

地域の環境面において、生活に支障を感じている人の割合(%)

指標NO.0004　【指標特性】下がると良い指標

基準値		46.9
R06実績		53.0
R07実績		47.1
R08実績		
R09実績		
R10実績		
めざそう値	R10	41
	R15	35.2



対基準値	悪化	R15めざそう値達成率	-1.7%
対前年比	改善		

生活環境課

■施策全体の評価　横ばい

指標動向

・「降下ばいじん量」は、基準値より0.1トン悪化しているが、前年度から0.2トン改善し、過去2番目に低い数値だった。

・「地域の環境面において、生活に支障を感じている人の割合」は、基準値より0.2ポイント悪化している。学区別では明倫学区が72.2%で、横須賀学区が63.8%と高くなっている。支障を感じる項目としては「降下ばいじん」が最も高く22.4%であるが、前年度から6.8ポイント改善した。一方で、2番目に高い「雑草繁茂」は17.5%と前年度から4.3ポイント悪化した。

施策全体評価の要因分析

・「降下ばいじん量」は前年度から改善し、成果指標の降下ばいじんや大気汚染により生活に支障を感じる人の割合も基準値から改善しているものの、「地域の環境面において、生活に支障を感じている人の割合」は基準値より悪化していることから、施策全体としては横ばいと評価する。

・「降下ばいじん量」は、基準値であり過去1番少なかった4年度に次ぐ少ない量であり、この理由は、臨海部企業の降下ばいじん対策の成果、太田川駅西地区の開発が進捗したこと、降水量が少なかったことなどにより降下ばいじんが減少した影響と考える。

・「地域の環境面において、生活に支障を感じている人」の具体的な支障内容として「雑草繁茂」と回答する人の割合が増加しており、この理由は、地球温暖化により高温となる期間が長期間に渡ることにより雑草が生育しやすい環境となっていることや、高齢化の進展により管理不全となる空家や空地が市内で増加し、問題が顕在化してきたことによるものと考える。

今後の方針

・市民が日常生活において快適に過ごすためには、支障となる要因の発生源の対策が重要であり、県、市及び鉄鋼３社で構成する降下ばいじん対策検討会において、降下ばいじんの削減対策をより一層検討していくとともに、不法投棄対策や清掃パトロールの実施、水質汚濁、悪臭、騒音等に係る事業所への指導、市民の生活環境に対する意識やマナーの啓発を徹底する必要がある。

・環境への対策や改善活動について市民の理解が深まることで、生活環境が同じ状況であっても支障に感じる割合の低減につながると考えるため、市から事業所に対して、より一層の情報提供を呼びかけるとともに、市及び事業所の双方が情報発信を強化していくことが必要である。

単位施策 01 **大気汚染、降下ばいじんを低減する**

主管課：生活環境課

評価
順調

単位施策指標名	基準値	R05年度	R06年度	R07年度	対基準値
大気汚染（降下ばいじん以外）により、生活に支障を感じている人の割合（%）	10.3	9.3	10.6	8.3	改善
降下ばいじんにより、生活に支障を感じている人の割合（%）	26.8	30.3	29.2	22.4	改善
降下ばいじん量(不溶解性成分量)（t/㎢・月）	1.7	2.0	1.9	1.9	悪化

成果指標動向

・「大気汚染（降下ばいじん以外）により、生活に支障を感じている人の割合」は、基準値から2ポイント改善している。学区別は横須賀学区が高いが、大田学校区は大きく改善した。
・「降下ばいじんにより、生活に支障を感じている人の割合」は、基準値から4.4ポイント改善し、前年度から6.8ポイント改善している。学区別では横須賀学区が16.8ポイント、大田学区が18.5ポイント改善している。
・「降下ばいじん量(不溶解性成分量)」は、基準値から0.2トン悪化したが、前年度からは変更がない。北部平均は1.5トンで、南部平均は2.3トンであり、南部平均の方が0.8トン多い。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算	
04-02-01	大気分析事業	7,484	7,263	
活動結果	大気汚染の状況を把握するため、分析を実施した ・分析項目 降下ばいじん、粉じん苦情による金属分析、 浮遊粒子状物質中の重金属分析、ダイオキシン類分析、 ばい煙分析、硫黄分析		決算の内訳（主なもの）	
			11節	74
			12節	7,189
			課名	
			【生活環境課】	
04-02-01	大気汚染テレメータシステム更新事業	2,524	2,519	
活動結果	大気汚染テレメータシステムを正確に安定して稼働させるため、機器の更新及び設定を行った ・対象機器 サーバ、監視用パソコン、ロビー表示盤、 表示盤制御パソコン、カラープリンタ　各1台		決算の内訳（主なもの）	
			11節	1,192
			17節	1,327
			課名	
			【生活環境課】	

単位施策 02 **水質汚濁、悪臭、騒音を低減する**

主管課：生活環境課

評価
順調でない

単位施策指標名	基準値	R05年度	R06年度	R07年度	対基準値
土留木川の平均ＢＯＤ濃度（mg/ℓ）	9.9	6.1	4.3	23.0	悪化
騒音調査の基準値適合率（%）	83.4	87.5	87.5	100	改善

成果指標動向

・「土留木川の平均ＢＯＤ濃度」は、基準値より13.1ポイント悪化しており、前年度からも18.7ポイント悪化している。
・「騒音調査の基準値適合率」は、全地点全時間帯で基準値に適合し、基準値より16.6ポイント向上し、前年度からも12.5ポイント向上している。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算
04-02-01	水質分析事業	1,656	1,650

活動結果：河川、ため池、事業所の水質を分析することにより、住みやすい環境の維持を図った
・水質分析実施内容
河川(8地点　5、8、11、2月実施)、
ため池(15地点　6月実施)、
工場排水(15地点　7月実施)

決算の内訳（主なもの）

12節	1,650

課名：【生活環境課】

04-02-01	臭気分析事業	561	514

活動結果：空気のきれいな住環境を維持するため、臭気を測定し、事業所の対策状況を確認した
・三点比較式臭袋法による測定　3事業所
・測定日　2026年2月5日

決算の内訳（主なもの）

12節	514

課名：【生活環境課】

04-02-01	騒音測定事業	880	478

活動結果：幹線道路近辺に居住する市民に住みよい環境を保全するため、騒音測定を実施した
・自動車騒音の面的評価　3路線
・交通量調査 2地点
・測定期間　2025年11月13日～14日

決算の内訳（主なもの）

12節	478

課名：【生活環境課】

04-03-01	西知多医療厚生組合負担金（し尿処理事業）	178,425	178,425

活動結果：西知多医療厚生組合のし尿処理事業について負担金を支出した
・負担割合　し尿処理事業費
し尿・浄化槽汚泥投入量割
東海市　81.62%(知多市 18.38%)

決算の内訳（主なもの）

18節	178,425

課名：【リサイクル推進課】

04-03-03	合併浄化槽設置補助事業	2,179	1,761

活動結果：下水道認可区域外に新たに合併浄化槽を設置する経費を補助した
・対象　　浄化槽設置者　・補助率　定額
・補助基準額　5人槽166千円、7人槽207千円、10人槽274千円、
単独処理浄化槽撤去費60千円、くみ取り便槽の撤去費45千円、
宅内配管工事費150千円
・整備基数　5人槽 9基、7人槽 1基、10人槽 0基　計10基

決算の内訳（主なもの）

18節	1,761

課名：【リサイクル推進課】

単位施策 03 **環境美化を推進する**

主管課：生活環境課

評価
順調でない

単位施策指標名	基準値	R05年度	R06年度	R07年度	対基準値
不法投棄、雑草繁茂、動物・害虫により、生活に支障を感じている人の割合（%）	18.0	23.7	24.3	25.6	悪化

成果指標動向

・「不法投棄、雑草繁茂、動物や害虫により、生活に支障を感じている人の割合」は基準値から7.6ポイント悪化し、前年度から1.3ポイント悪化している。年齢別では、すべての年代で基準値よりも悪化しており、特に65歳以上の割合が高くなっている。職業別でも、すべての職業で基準値よりも悪化しており、特にパート・アルバイトが32.4%、無職が31.2%と高い。学区別では、明倫学区が61.1%と特に高く、続いて加木屋学区が31.9%、加木屋南学区が31.5%と30%を超えている。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算
04-01-05	猫避妊等補助事業	2,534	2,504

活動結果

野良猫によるトラブルを減少させるため、地域ねこに対し実施した避妊・去勢手術費の一部を補助した
・地域ねこ　メス　158頭
　　オス　154頭
・上限額　　避妊　10,000円　去勢　6,000円

決算の内訳（主なもの）	
18節	2,504
課名	
【生活環境課】	

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算
04-01-05	地域ねこ活動推進事業	88	86

活動結果

野良猫によるトラブルを減少させ、地域ねこ活動を周知・推進するために地域ねこ説明会を実施した
・回数　　年4回
・開催日　2025年6月17日、10月1日、12月15日、2026年2月12日

決算の内訳（主なもの）	
7節	28
8節	9
10節	49
課名	
【生活環境課】	

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算
04-01-06	害虫駆除事業	5,804	5,088

活動結果

市民生活の安全を確保するため、人に危害を及ぼす恐れのあるスズメバチ類の巣の撤去を実施するとともに、特定外来生物であるアルゼンチンアリの防除を実施した
・スズメバチの巣の撤去　　82件
・アルゼンチンアリの防除　　12回

決算の内訳（主なもの）	
1節	1,328
10節	2,105
11節	1,640
課名	
【生活環境課】	

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算
04-01-07	地域美化推進事業	4,859	4,859

活動結果

ごみのないまちづくりを目指すため、不法投棄ごみの回収、道路等公共施設の清掃等を実施した
・ごみ散乱防止市民行動月間 6月、9月
・地域の清掃活動の参加者数 延3,946人
・道路ごみ年間回収量　　2,800Kg

決算の内訳（主なもの）	
1節	3,975
10節	693
11節	152
課名	
【生活環境課】	

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算
04-02-01	環境モニター設置事業	684	679

活動結果

環境モニター設置要領に基づき、公募により選任したモニターが、市内各所の環境実情を把握し、快適な環境づくりを推進した
・モニター数　12人
・年間報告件数 57件

決算の内訳（主なもの）	
7節	679
課名	
【生活環境課】	

めざすまちの姿　02　住みやすい環境を保全し、にぎわいと活力に満ちている

分野　2　環境・経済

施　策　04 自然と共生する持続可能な社会の実現

主管課：生活環境課

■施策の目標

市民や事業者、行政などが一体となり、豊かな自然を将来の世代に継承し、持続可能なまちになっています。

■施策の基本方針

令和３２年（２０５０年）のゼロカーボンシティ実現のため、温室効果ガス排出量の削減に努めるとともに、市民や事業者に対しては、地球温暖化対策の啓発などによるカーボンニュートラルに向けた気運の醸成及び取り組みを推進します。

また、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを実践できる市民や事業者を増やすため、循環型社会の形成を目指し、３Ｒを推進するとともに、環境について学ぶ機会を充実させ、市民や事業者の環境意識の向上に取り組みます。

■施策実現の財源投入状況　（単位：千円）

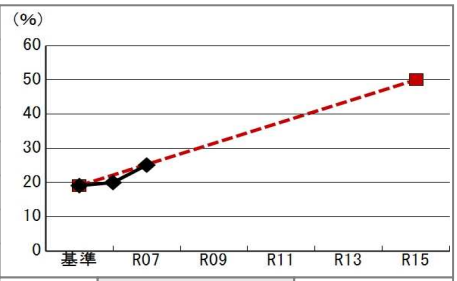
予算	R07年度	1,624,636	対前年比	84.6%	決算	R07年度	1,586,483	対前年比	85.8%
	R06年度	1,919,754				R06年度	1,849,798		

■まちづくり指標の推移

温室効果ガス排出量の削減割合（%）

指標NO.0005　【指標特性】上がると良い指標

基準値		19.1
R06実績		20.0
R07実績		25.1
R08実績		
R09実績		
R10実績		
めざそう値	R10	35
	R15	50



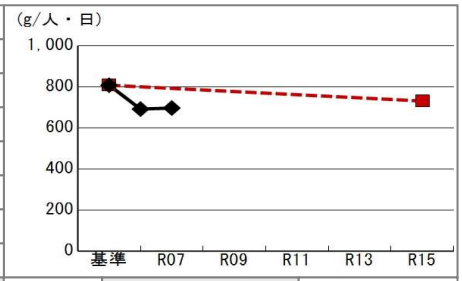
対基準値	改善	R15めざそう値達成率	+19.4%
対前年比	改善		

生活環境課

市民一人１日当たりのごみの排出量（g/人・日）

指標NO.0006　【指標特性】下がると良い指標

基準値		807
R06実績		691
R07実績		696
R08実績		
R09実績		
R10実績		
めざそう値	R10	765
	R15	730



対基準値	改善	R15めざそう値達成率	+144.2%
対前年比	悪化		

リサイクル推進課

■施策全体の評価　順調

指標動向

・「温室効果ガス排出量の削減割合」は、基準値より6ポイント、前年比では5.1ポイント改善している。なお、R07実績に記載の数値は、国が公表している最新データであるR04年度時点の数値を記載しているもの。

・「市民一人１日当たりのごみの排出量」は、基準値より111g減少しており、前年比では横ばいに推移している。

施策全体評価の要因分析

・まちづくり指標はともに順調に推移しており、単位施策においても基準値から改善した成果指標が多いことから、施策全体として順調と評価する

・「温室効果ガス排出量の削減割合」の改善要因は、「地球温暖化防止に取り組む人の割合」では横ばいに推移した一方で、部門別温室効果ガス排出量は全ての部門で減少しており、特にコロナ禍の影響で産業部門での生産量の低下によるエネルギー消費量の減少によるものが大きいと考える。

・資源を含めた「市民一人当たりのごみ排出量」が横ばいの要因は、リサイクル等の普及促進による家庭ごみの資源化の進展により「家庭系ごみ（資源除く）の排出量」が減少傾向になっているが、事業系ごみの搬入が多くなったことが横ばいとなった要因と考える。

・「普段から環境に配慮した行動を実践している人の割合」は、75歳以上で特に高くなっており、これは環境意識や物価高騰よる節約意識の向上が要因と考える。

今後の方針

・地球温暖化防止に取り組む人や環境に配慮した行動を実践している人の割合が低い若い世代に対して、これらの世代が参加しやすい休日の市内イベント等において、ゼロカーボンシティ啓発ブースの設置や、エコスクールの実施を通じて啓発を行い、意識の向上に取り組んでいく。

・ごみ減量等に取り組んでいる人の割合が低い若い世代に対しては、冊子やホームページ、市公式ＬＩＮＥにおけるごみ分別の検索機能など、気軽にごみ分別に取り組むことができる環境づくりを進めることで、ごみの減量化とリサイクルの普及啓発活動を推進していく。

単位施策 01 温室効果ガス削減に向けた取り組みを推進する

主管課：生活環境課

評価
横ばい

単位施策指標名	基準値	R05年度	R06年度	R07年度	対基準値
地球温暖化の防止に取り組んでいる人の割合（%）	76.9	78.8	80.1	71.1	悪化
太陽光発電システムの設置件数（件）	4,566	4,825	5,281	5,660	改善

成果指標動向

・「地球温暖化の防止に取り組んでいる人の割合」は、基準値から5.8ポイント、前年度から9ポイント減少した。年齢別では、75歳以上が92.0%と最も高く、前年度から10ポイント以上改善したが、30代では前年度から27.6ポイント減少した。職業別では無職以外は減少しており、特に会社員・公務員では前年度から15.8ポイント減少した。学区別では、前年度に6割以上の学区で80%を超え南部地区で高い傾向にあったが、今回80%を超える学区は無く、学区による偏りも無くなった。
・「太陽光発電システムの設置件数」は、前年度から379件、基準値から1,094件改善し、順調に推移している。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算
04-02-01	住宅用地球温暖化対策設備導入促進補助事業	41,394	35,069

活動結果

住宅用地球温暖化対策設備の導入に対し補助した
・一体的導入　97件（蓄電池72件、高性能外皮等25件）
・単独設置　161件（HEMS 41件、燃料電池12件、蓄電池106件、V2H 1件、太陽熱（自然）1件）

決算の内訳（主なもの）	
18節	35,069
課名	
【生活環境課】	

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算
04-02-01	地球温暖化対策啓発事業	3,809	3,797

活動結果

ゼロカーボンシティロゴマークを活用したエコバッグ、うちわ等を作成し、市内イベント等で啓発するとともに、ゼロカーボンの日に向けて市民、事業者、行政の各主体が参加するゼロキャンペーンを実施した
・キャンペーン実施期間　2026年 2月 1日～ 3月 1日

決算の内訳（主なもの）	
10節	448
12節	3,349
課名	
【生活環境課】	

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算
04-02-01	事業者等省エネルギー設備導入等補助事業	10,000	2,070

活動結果

省エネルギー診断、温室効果ガス排出量を削減する設備改修等に対し補助した
・省エネルギー診断　補助率1/2　実績　3件
・温室効果ガス排出量を削減する設備改修等
補助額　補助対象事業により減少する温室効果ガス排出量(t-CO2)に設備の耐用年数及び1万円を乗じて得た額　実績　2件

決算の内訳（主なもの）	
18節	2,070
課名	
【生活環境課】	

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算
04-02-01	次世代自動車購入促進補助事業	33,855	33,855

活動結果

次世代自動車の購入に対し補助した
・電気自動車(EV)　補助限度額　300千円　実績 79件
・プラグインハイブリッド自動車(PHV)
補助限度額　300千円　実績 40件
・燃料電池自動車(FCV)　補助限度額　500千円　実績　0件

決算の内訳（主なもの）	
18節	33,855
課名	
【生活環境課】	

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算
04-02-01	省エネ家電製品購入促進補助事業	33,258	24,490

活動結果

一定以上の省エネ性能を有するエアコン、冷蔵庫の買替えに対し補助した
・補助額
購入額 10千円以上100千円未満の場合 10千円　実績　9件
100千円以上150千円未満の場合 20千円　実績　62件
150千円以上の場合　30千円　実績 772件

決算の内訳（主なもの）	
18節	24,490
課名	
【生活環境課】	

単位施策 02 ごみの減量化とリサイクルを推進する

主管課：リサイクル推進課

評価
横ばい

単位施策指標名	基準値	R05年度	R06年度	R07年度	対基準値
市民一人１日当たりの家庭系ごみ（資源を除く）の排出量（g/人・日）	460	438	421	416	改善
ごみ減量、リサイクルに取り組んでいる人の割合（%）	81.8	83.8	84.8	83.3	改善

成果指標動向

・「市民一人１日当たりの家庭系ごみ（資源を除く）の排出量」は、基準値から44g/人、前年度からは5g/人改善している。
・「ごみ減量、リサイクルに取り組んでいる人の割合」は、基準値から1.5ポイント改善、前年度から1.5ポイント悪化した。年齢別では16歳から49歳までが低い傾向にある。職業別では、学生が65.5ポイントと低い。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算	
04-03-02	生ごみ処理機購入費補助事業	2,059	2,059	
活動結果	生ごみの減量を促進するため、生ごみ処理機の購入に対し補助した ・補助率　1/2 ・補助上限額　20千円/基（電動式生ごみ処理機） 5千円/基（生ごみ処理容器） ・実績　電動式生ごみ処理機　111件 生ごみ処理容器　11件		決算の内訳（主なもの）	
			18節	2,059
			課名	
			【リサイクル推進課】	
04-03-02	木材資源化処理事業	11,004	7,950	
活動結果	木材等の資源化を推進するため、リサイクルセンター内で草木類を回収し、木材等資源化施設にて資源化処理を行った ・対象　市内の家庭から排出される草木類 ・実績　93t		決算の内訳（主なもの）	
			11節	5,080
			12節	1,431
			14節	1,078
			課名	
			【リサイクル推進課】	
04-03-02	キエーロ作成頒布事業	330	304	
活動結果	生ごみの減量を促進するため、キエーロを作成し、リサイクルセンターの窓口で頒布した ・頒布数　33基 ・頒布代金　3,500円		決算の内訳（主なもの）	
			10節	136
			11節	168
			課名	
			【リサイクル推進課】	
04-03-02	リサイクルセンター施設整備計画策定事業	4,415	4,415	
活動結果	清掃工場解体跡地に建設予定のマテリアルリサイクル施設及びその他リサイクルセンター内施設について機能や配置の適正化を図る計画を策定する ・策定時期　2027年 3月 ・策定期間　2025年 8月～2027年 3月		決算の内訳（主なもの）	
			12節	4,415
			課名	
			【リサイクル推進課】	
04-03-02	リサイクルセンター土壌汚染調査事業	23,423	22,796	
活動結果	清掃工場の解体に向け必要な、リサイクルセンターの土壌汚染調査を実施する ・内容　表層調査 ・対象　清掃工場及びスロープ周辺 ・調査期間　2025年 8月～2027年 3月		決算の内訳（主なもの）	
			12節	22,796
			課名	
			【リサイクル推進課】	

単位施策 03 **環境意識を向上させる**

主管課：生活環境課

評価
横ばい

単位施策指標名	基準値	R05年度	R06年度	R07年度	対基準値
普段から環境に配慮した行動を実践している人の割合（%）	68.2	70.7	72.6	70.8	改善

成果指標動向

・「普段から環境に配慮した行動を実践している人の割合」は、基準値より2.6ポイント向上しているが、前年度より1.8ポイント低下している。年齢別では、20歳代から40歳代までが、各年代における基準値より低下かつ70%未満である一方で、50歳代以上は基準値から向上かつ70%以上と高い数値となっている。職業別では、主婦（家事専業）、無職、パート・アルバイトの順で高い傾向にあり、自宅にいる時間が長い職業の方が高い傾向がある。学区別では、顕著な特徴はない。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算	
04-02-01	環境審議会設置事業	301	220	
活動結果	環境基本条例に基づき、環境基本計画、その他環境の保全及び創造に関する基本的事項を審議した ・委員数　19人 ・開催日　2025年8月5日、2026年1月30日		決算の内訳（主なもの）	
			1節	200
			8節	17
			10節	3
			課名	
			【生活環境課】	
04-02-01	環境基本計画推進事業	382	328	
活動結果	市民、事業者、市民団体などからなる環境基本計画推進委員会を設置し、協働、共創により事業推進を図った ・委員数　12人(2部会) ・開催日　2025年6月3日、8月7日、12月22日 ・検討内容　年次報告書作成、次年度年次報告書の検討		決算の内訳（主なもの）	
			7節	307
			8節	18
			10節	3
			課名	
			【生活環境課】	
04-02-01	エコスクール開催補助事業	487	293	
活動結果	豊かな感性を伸ばし、進んで環境保全に取り組むことのできる人づくりを目指すため、エコスクール実行委員会が実施する環境に関する講座の開催に要する経費を補助した ・講座実施数　事務局8講座、公募6講座 ・参加者数　469人		決算の内訳（主なもの）	
			18節	293
			課名	
			【生活環境課】	
04-02-01	生物調査業務委託事業	3,179	2,189	
活動結果	市内全域の生き物の生育・生育情報等を把握するため、生物調査をした ・内容　調査計画策定、現地調査、既存資料調査、報告書作成 ・対象　市内全域（24地点）		決算の内訳（主なもの）	
			12節	2,189
			課名	
			【生活環境課】	

めざすまちの姿　02　住みやすい環境を保全し、にぎわいと活力に満ちている

分野　2　環境・経済

施　策　05 魅力ある農業の振興

主管課：農務課

■施策の目標

農業の魅力が向上し、持続的に発展しています。

■施策の基本方針

土地改良事業などによる生産基盤の整備や、農業用施設の劣化状況に応じた適正な維持管理、担い手の育成・確保を行うことで、生産組織の強化を図るとともに、立地特性を生かした付加価値の高い農産物の生産性向上や生産コストの低減、優良品種の育成などにより、農業経営の安定化を支援します。

また、農業の持つ多面的な魅力を生かした市民農園や体験型農業、イベントの開催を通じて、農業の魅力を発信します。

■施策実現の財源投入状況　（単位：千円）

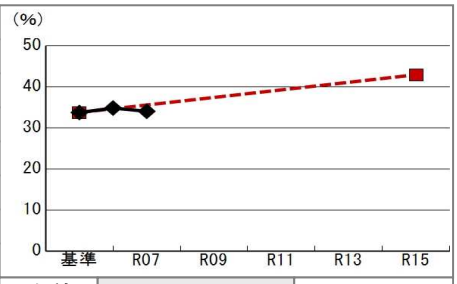
予算	R07年度	395,238	対前年比　93.5%	決算	R07年度	355,934	対前年比　88.5%
	R06年度	422,544			R06年度	402,316	

■まちづくり指標の推移

東海市産の農産物を意識して購入している人の割合（%）

指標NO.0007　　【指標特性】上がると良い指標

基準値		33.7
R06実績		34.8
R07実績		34.0
R08実績		
R09実績		
R10実績		
めざそう値	R10	38.3
	R15	42.9



対基準値	改善	R15めざそう値達成率	+3.3%
対前年比	悪化		

基準値			
R06実績			
R07実績			
R08実績			
R09実績			
R10実績			
めざそう値	R10		
	R15		

対基準値		R15めざそう値達成率	
対前年比			

農務課

■施策全体の評価　横ばい

指標動向

・「東海市産の農産物を意識して購入している人の割合」は基準値より0.3ポイント改善しているが、前年度より0.8ポイント低下している。年齢別では75歳以上、職業別では自営業が最も高い値となっている。

施策全体評価の要因分析

・まちづくり指標は基準値と比較し改善しているが、単位施策の成果指標「農地の有効利用率」「地域特産農産物の出荷額」は悪化していることから、施策全体としては横ばいと評価する。
・「東海市産の農産物を意識して購入している人の割合」は、地元農産物のブランド化等のＰＲ効果もあり、基準値と比較して改善しているが、高齢層が高く、若年層が低い傾向にあり、世代間に関心の差がみられる。
・成果指標「農地の有効利用率」は基準値より悪化している。これは、開発や転用等により総農地面積が毎年減少していることに加え、農業者の高齢化及び後継者不足に伴い、遊休農地が増加したことが要因と考える。
・成果指標「地域特産農産物の出荷額」は、基準値より悪化している。特にフキやタマネギでは、作付面積が減り、収穫量が減っていることが要因と考える。

今後の方針

・農地減少の中、補助金による負担軽減など営農継続しやすい環境を維持し、農業経営の安定化を図る。
・新規就農者に対し、「農業人材力強化総合支援事業費補助金」による支援を継続する。
・イベント等を通じて農業の必要性や魅力を発信するとともに、ブランド化等による農産物の付加価値向上や販路拡大を図り、収益性を高めることで、農業に対するイメージの改善や職業としての魅力向上に努め、新規就農者の確保を図る。

単位施策 01 農地の有効利用を推進する

主管課：農務課

評価
順調でない

単位施策指標名	基準値	R05年度	R06年度	R07年度	対基準値
農地の有効利用率（%）	95.3	95.0	94.8	94.3	悪化

成果指標動向

・「農地の有効利用率」は、資材置場・駐車場等への転用により総農地面積が減少したことに加え、遊休農地面積が増加していることから、基準値から1.0ポイント悪化しており、前年度からは0.5ポイント低下している。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算	
06-01-03	農業振興地域整備計画変更事業	7,558	7,557	
活動結果	「農業振興地域の整備に関する法律」に基づき、2024年度に実施した基礎調査をもとに、計画の見直しを行った ・内容　基礎調査をもとに農用地利用計画など整備計画全般の見直しを実施		決算の内訳（主なもの）	
			12節	7,557
			課名	
			【農務課】	
06-01-06	川北新田用水機場整備事業	6,460	6,160	
活動結果	安定的に用水を供給するため、川北新田用水機場のポンプを分解整備した ・場所　大田町川北新田地内 （ＪＡあいち知多東海営農センター西） ・内容　φ80ポンプ分解整備 ・工期　2025. 8.15～2026. 2.26		決算の内訳（主なもの）	
			14節	6,160
			課名	
			【農務課】	
06-01-06	川北新田排水機場整備事業	59,903	58,014	
活動結果	湛水被害を防ぐため、川北新田排水機場のポンプを更新した ・場所　大田町川北新田地内 （ＪＡあいち知多東海営農センター西） ・内容　φ400水中ポンプ更新 ・工期　2025. 7.2～2026. 3.25		決算の内訳（主なもの）	
			8節	44
			14節	57,970
			課名	
			【農務課】	
06-01-06	川北第二排水機場整備事業	17,640	16,995	
活動結果	施設を安定的に稼働するため、川北第二排水機場吸水槽の汚泥除去を実施した ・場所　大田町上浜田地内(大宮神社西) ・内容　吸水槽汚泥除去 ・工期　2025.11.13～2026. 2. 9		決算の内訳（主なもの）	
			14節	16,995
			課名	
			【農務課】	
06-01-06	木田北部地区ほ場整備費補助事業	14,930	14,467	
活動結果	木田北部土地改良組合が土地改良事業を行うための経費に対して補助した ・内容 調査設計業務　補助率　業務に要する費用の全額 区画整理工事　補助率　25/100以内 換地業務　　補助率　20/100以内		決算の内訳（主なもの）	
			18節	14,467
			課名	
			【農務課】	

単位施策 02 農業経営を支援する

主管課：農務課

評価
横ばい

単位施策指標名	基準値	R05年度	R06年度	R07年度	対基準値
地域特産農産物の出荷額（億円/年）	13.1	12.0	11.6	11.2	悪化
人・農地プランに位置付けられた中心経営体数（戸）	85	86	86	203	改善

成果指標動向

・「地域特産農産物の出荷額」は、基準値から1.9億円悪化しており、特に野菜（ふき、たまねぎ）、花き（洋らんを除く鉢物）で大きく悪化した。前年度からは4,000万円低下しており、特に野菜（ふき・なす）が低下している。
・「人・農地プランに位置付けられた中心経営体数」は、「地域計画」への移行に伴い、中心経営体数に代わって集計している「農業を担う者」としたことにより、基準値および前年度から大きく増加している。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算	
06-01-03	営農継続支援補助事業	22,200	14,742	
活動結果	市内農業者の営農継続の安定化を図るため、出荷用資材の購入経費の一部を補助した ・対象者　市内農業者 ・補助率　1/2以内 ・上限額　10万円 ・補助件数　187件		決算の内訳（主なもの）	
			18節	14,742
			課名	
			【農務課】	
06-01-03	ふき普及推進事業	1,060	993	
活動結果	一般社団法人おにぎり協会が開催する「おにぎりサミット」へ参加し、市特産のふきの認知度向上や販路拡大を図った ・時期　2026年 1月27日 ・場所　東京都中央区 ・参加自治体　14自治体		決算の内訳（主なもの）	
			8節	197
			10節	356
			18節	400
			課名	
			【農務課】	
06-01-04	都市近郊農業施設設置費等補助事業	14,126	12,454	
活動結果	農業者が投資する園芸用施設及びその付帯施設の整備費に対して補助した ・対象者　市内施設園芸農家 ・補助率　1/2以内 ・補助件数　事業費500万円以上　0件(補助上限額 100万円) 事業費500万円未満 22件(補助上限額　80万円)		決算の内訳（主なもの）	
			18節	12,454
			課名	
			【農務課】	
06-01-07	かんきつ（夕焼け姫）栽培・調査研究事業	4,951	4,714	
活動結果	県独自のかんきつの新品種「夕焼け姫」の産地化・ブランド化に向けて「S．マルチ」による品質向上効果等を調査研究した ・場所　加木屋町旭地内 ・実施面積　4,740㎡		決算の内訳（主なもの）	
			10節	583
			12節	2,926
			13節	1,185
			課名	
			【農務課】	
06-01-07	子ども野菜教室開催事業	550	550	
活動結果	子どもたちが農業を通じて地域との関わりを深めるため、小学生を対象に収穫体験、先進農場の見学会等の子ども野菜教室を開催した ・期間　2025年 9月28日～2026年 3月22日(内6回実施) ・場所　農業センター他 ・参加者数　延べ99人		決算の内訳（主なもの）	
			12節	550
			課名	
			【農務課】	

めざすまちの姿　02　住みやすい環境を保全し、にぎわいと活力に満ちている

分野　2　環境・経済

施　策　06 活力ある商工業の振興

主管課：商工労政課

■施策の目標

商工業の活性化や観光の発展により、まちににぎわいや活力が創出されています。

■施策の基本方針

商工会議所などと連携し、創業への支援をはじめとした商工業における活性化を促し、事業者の経営を継続的に支援するとともに、商工業の発展を下支えする労働者のため、雇用の促進や働きやすい環境整備を支援します。

また、地域や事業者と協力しながら観光資源の魅力を向上させ、活用することで、観光客や来訪者、本市に関わりのある人を増やし、交流人口や関係人口の拡大により、まちのにぎわいを創出します。

■施策実現の財源投入状況　（単位：千円）

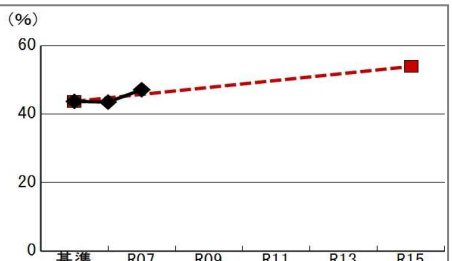
予算	R07年度	849,710	対前年比　116.1%	決算	R07年度	831,095	対前年比　116.4%
	R06年度	731,714			R06年度	713,810	

■まちづくり指標の推移

商工業、観光分野でにぎわいが創出されていると思う人の割合（%）

指標NO.0008　【指標特性】上がると良い指標

基準値		43.7
R06実績		43.5
R07実績		47.1
R08実績		
R09実績		
R10実績		
めざそう値	R10	48.8
	R15	53.9



対基準値	改善	R15めざそう値達成率	+33.3%
対前年比	改善		

基準値			
R06実績			
R07実績			
R08実績			
R09実績			
R10実績			
めざそう値	R10		
	R15		

対基準値		R15めざそう値達成率	
対前年比			

商工労政課

■施策全体の評価　横ばい

指標動向

・「商工業、観光分野でにぎわいが創出されていると思う人の割合」は基準値と比べ3.4ポイント向上、前年度と比較して3.6ポイント向上している。
・企業や事業所、飲食店やイベントが多いと回答した割合が高いが、飲食店以外の店舗や観光名所については、割合が低い。
・年齢別では20～40代が高く、学区別では大田校区が最も高い。これは、飲食店の多さやイベントの実施が要因であると考える。

施策全体評価の要因分析

・単位施策の成果指標は改善と悪化が混在していることから施策全体としては横ばいと評価する。
・年々物価が高騰する厳しい状況が続くなか、単位施策01「商工業の活性化を推進する」の成果指標「売上が増加している事業所の割合」が低下している。これは、市内小規模事業者キャッシュレス決済ポイント還元事業等により市内での消費喚起を行ってきたところであるが、物価高に伴う消費の低迷が推察される。
・単位施策02「観光資源の魅力を向上させ、観光交流を推進する」では、イベント開催による人の往来の活発化や、市内事業者の大規模工事等の関係者や近隣地区での大規模イベントへの来訪者によって、市内宿泊施設の宿泊者数については、高水準を継続している。また、イベント実施による賑わいは、30～40代の評価が高いのは、太田川駅前でのイベントや桜まつりといった本市の特色ある取り組みが評価されていると推察する。

今後の方針

・国際情勢の不安定化に伴う資材不足や物価高騰、働き手不足など、商店や企業を取り巻く環境は厳しい状況が続くことが見込まれることから、引き続き、企業立地の促進や交流人口の拡大による市内での消費喚起、事業活動の継続に向けた支援など、幅広い視点での事業展開を推進していく。
・交流人口や観光客数の増加が見込まれることから、既存事業の充実及び磨き上げを図りながら、地域資源が有する観光ポテンシャルを生かした魅力向上やSNS等を活用した情報発信の強化に取り組み、にぎわい創出・拡大につなげていく。

単位施策 01 **商工業の活性化を推進する**

主管課：商工労政課

評価
横ばい

単位施策指標名	基準値	R05年度	R06年度	R07年度	対基準値
売上が増加している事業所の割合（%）	35.4	34.3	38.3	32.4	悪化

成果指標動向

・年々物価が高騰する厳しい状況であり、「売上が増加している事業所の割合」は基準値と比べ3ポイント、前年度と比べ5.9ポイント低下している。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算	
07-01-02	産業まつり開催補助事業	23,711	20,913	
活動結果	東海秋まつりの一つである産業まつりの事業費を商工会議所に対して補助した ・時期　2025年11月 1日、2日 ・場所　元浜公園等 ・補助率　一般事業費 1/2 共通経費 10/10 ・来場者数 約145,000人		決算の内訳（主なもの）	
			18節	20,913
			課名	
			【商工労政課】	
07-01-02	信用保証料補助事業	5,446	4,782	
活動結果	小規模企業等振興資金等の融資を受けたものが負担する信用保証料の一部を補助した ・補助率　通常枠　信用保証料の60%～100% ・補助件数　81件		決算の内訳（主なもの）	
			18節	4,782
			課名	
			【商工労政課】	
07-01-02	企業立地交付金事業	41,421	40,555	
活動結果	企業の立地を促進するため、市内に工場等の新設又は工場等若しくは償却資産の再投資をする企業に対して交付金を交付した ・中小企業再投資交付金　5件		決算の内訳（主なもの）	
			18節	40,555
			課名	
			【商工労政課】	
07-01-02	中小企業・小規模事業者雇用促進支援補助事業	1,131	886	
活動結果	商工会議所が実施する中小企業・小規模事業者の人材確保のため、地域に在学する学生等への雇用促進支援事業に対して商工会議所に補助した ・補助率　1/2 ・参加事業者数　33事業者 ・合同企業説明会来場者数 83人		決算の内訳（主なもの）	
			18節	886
			課名	
			【商工労政課】	
07-01-02	市内小規模事業者キャッシュレス決済ポイント還元事業	223,082	223,081	
活動結果	物価高騰の影響を受けている市内小規模事業者及び市民への支援と、キャッシュレス化による商業活動を推進するため、キャッシュレス決済によるポイント還元事業を実施した ・実施時期　2025年10月 1日から10月31日 ・還元内容　決済額の20%を還元(上限あり) ・決済事業者　PayPay、auPAY、 d 払い、楽天ペイ		決算の内訳（主なもの）	
			11節	11,279
			12節	24,877
			18節	186,925
			課名	
			【商工労政課】	

単位施策 02 観光資源の魅力を向上させ、観光交流を推進する

主管課：商工労政課

評価
順調

単位施策指標名	基準値	R05年度	R06年度	R07年度	対基準値
観光地点等入込客数（人/年）	302,060	451,456	402,847	461,162	改善
市内宿泊施設の宿泊者数（人/年）	249,025	251,696	287,289	269,435	改善

成果指標動向

・「観光地点等入込客数」は基準値に比べ159,102人改善し順調である。
・「市内宿泊施設の宿泊者数」は基準値に比べ20,410人改善している。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算
07-01-04	桜まつり開催補助事業	6,226	6,226
活動結果	観光振興を図るため、桜まつりを実施した ・時期　2025年 3月21日～ 4月13日 ・場所　大池公園 ・来場者数　約59,000人		決算の内訳（主なもの） 18節　6,226 課名 【商工労政課】
07-01-04	観光イルミネーション補助事業	13,000	12,896
活動結果	観光振興を図るため、イルミネーション事業を実施した ・時期　2025年12月 1日～2026年 1月12日 ・場所　太田川駅前及び聚楽園駅前 ・来場者数　約24,000人		決算の内訳（主なもの） 18節　12,896 課名 【商工労政課】
07-01-04	東海まつり花火大会開催事業	28,659	28,391
活動結果	観光振興を図るため、花火大会を実施した ・時期　2025年 8月 9日 ・場所　大池公園 ・来場者数　約130,000人		決算の内訳（主なもの） 12節　28,391 課名 【商工労政課】
07-01-04	沖縄フェスティバル開催事業	6,921	6,921
活動結果	観光振興や中心市街地のにぎわいを図るため、沖縄フェスティバルを開催した ・時期　2025年 7月18日、19日 ・場所　大屋根広場 ・来場者数　約8,700人		決算の内訳（主なもの） 12節　6,921 課名 【商工労政課】
07-01-04	ひかりの観光資源創出事業	21,709	21,703
活動結果	公園等の魅力を高めるため、各種イベントに光と音を加えたライトアップ等を実施した ・場所　大池公園(桜まつり)、聚楽園公園(もみじまつり) ・来場者数　約59,000人(桜まつり)、約23,000人(もみじまつり)		決算の内訳（主なもの） 18節　21,703 課名 【商工労政課】

単位施策 03 働きやすい環境整備を支援する

主管課：商工労政課

評価
順調でない

単位施策指標名	基準値	R05年度	R06年度	R07年度	対基準値
地域職業相談室の就職件数及び内職相談による斡旋件数（件/年）	448	395	395	364	悪化

成果指標動向

・「地域職業相談室の就職件数及び内職相談による斡旋件数」は、基準値と比べて84件減少しており、前年度と比較しても減少傾向で推移している。

主な事業の概要

（単位：千円）

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算
05-01-01	中小企業退職金共済制度加入促進補助事業	3,829	3,296

活動結果

中小企業退職金共済制度の加入を促進し、従業員の福利厚生の向上等を図るため、中小企業主が従業員への退職金支給のために積み立てる共済掛金に対して補助した
・対象　　中小企業主
・補助率　　12箇月分納付掛け金の10%
・補助件数　101事業所

決算の内訳（主なもの）

18節	3,296

課名：【商工労政課】

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算
05-01-01	勤労者福祉サービスセンター運営費補助事業	39,410	39,410

活動結果

知多5市5町の広域による知多地区勤労者福祉サービスセンターの設置に伴い、管理運営に要する費用を知多5市5町分を取りまとめて補助した
・東海市負担割合　17.879%

決算の内訳（主なもの）

18節	39,410

課名：【商工労政課】

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算
05-01-01	パートタイム労働者福祉対策補助事業	1,818	1,728

活動結果

知多5市5町の広域による知多地区勤労者福祉サービスセンターに加入したパートタイム労働者の会費を負担する中小企業に対して補助した
・補助金額　1人につき300円
・延人数　　5,761人

決算の内訳（主なもの）

18節	1,728

課名：【商工労政課】

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算
05-01-01	優良従業員顕彰式開催事業	110	110

活動結果

勤労者の勤労意欲を向上させるため、市内企業の推薦に基づき、優良従業員を顕彰した
・時期　　2025年11月20日
・場所　　商工センター
・表彰者　43名（特別表彰　26名、一般表彰　17名）

決算の内訳（主なもの）

7節	104
10節	6

課名：【商工労政課】

款項目	事業名	R07年度予算	R07年度決算
05-01-02	勤労センター給水設備改修事業	39,670	39,670

活動結果

勤労センターの給水設備改修を実施した
・内容　受水槽及び浴室給湯設備の取替
・工期　2025.4.29～2025.12.19

決算の内訳（主なもの）

14節	39,670

課名：【商工労政課】